



まちの話 題

生の舞台の迫力を体感

第23回長崎県子ども舞台芸術祭典松浦公演

劇団風の子九州の舞台劇『いまからいえてにいきます』の松浦公演が7月20日、文化会館で開催されました。

この事業は、子どもたちに生の舞台芸術に触れてもらいたいと、松浦子ども舞台芸術祭典実行委員会の主催で、毎年行われています。

本作品は、4歳の主人公がふしぎな冒険を通して成長していく物語。来場者たちは、役者の熱演にすぐに舞台の世界に引き込まれ、一緒に笑ったり、驚いたりしながら楽しんでいました。



スポーツで親睦を深める

労政協親善ソフトボール大会

第31回労政協親善ソフトボール大会が7月9日から6日間にかけて、市民運動公園で開催されました。

同大会は、勤労者の相互の親睦と体力向上を目的に毎年開催されており、今回は16チーム（約300人）が出場。

選手たちは、会社の同僚や家族、チームメイトからの声援を受け、白熱した試合を繰り広げました。

上位の結果は次のとおりです。

【優勝】九州機電工事(株)

【準優勝】九電産業(株)松浦事業所

【第3位】松浦衛生(株)



夏の風物詩、今年も開催

疫神社夏祭り今福花火大会

疫神社夏祭り今福花火大会(松浦商工会議所今福支部青年部主催)が7月28日、今福漁港周辺で開催されました。

ステージでは、太鼓の演奏やダンスパフォーマンス、よさこい踊り、平戸神楽などが披露され、一芸自慢が技を競う今福P-1グランプリも開催されました。出場者たちは、書道パフォーマンスやダンスなど趣向を凝らした一芸を披露し、会場を盛り上げました。

祭りのフィナーレでは、夏の夜空を彩る1,200発の花火が打ち上げられ、多くの見物客を魅了しました。



言葉の奥深さを学ぶ

西海短歌祭

第29回西海短歌祭が、7月21日、文化会館で開催されました。

県内の短歌愛好家らでつくる西海短歌連盟(山口礼子会長)が出詠者同士で学習しながら親睦を深め、地域の文学の発展につなげたいと毎年開催しています。

この日、市内外から参加者が集まり、作品の意見や感想を語り合うなど、1首の構造分析や思考を通して言葉の持つ意味深さなどを学びました。事前に寄せられた短歌45作品の中から互選の部・選者選の部の入選作品が決まりました。市内の入選者は次のとおりです(敬称略)。

【互選の部】優秀作 松浦市賞 深見マサ子

奨励作 西海短歌連盟賞 尾田貢

【選者選の部】

《山村孝選》

金子壽美

《山口礼子選》

石川元治



大盛況！松浦の美味しい旬の特産品

御厨ぶどう祭り・アールスメロンまつり

◆御厨ぶどう祭り

御厨ぶどう祭り（ながさき西海農協松浦地区御厨ぶどう部会主催）が7月28日と8月4日、道の駅松浦海のふるさと館で開催され、「巨峰」や「安芸クイーン」、「シャインマスカット」の販売が行われました。

今年も出来が良く、高い糖度でおいしく仕上がった御厨ぶどう。2日間で約2,000箱（1箱4パック入り）が準備されました。

お目当てのぶどうを求めて、訪れた大勢の買い物客で会場はにぎわいました。



◆アールスメロンまつり

アールスメロンまつり（ながさき西海農協松浦メロン部会主催）が7月29日、道の駅松浦海のふるさと館で開催されました。

大玉で甘くおいしく仕上がったアールスメロンを求めて、販売前から長蛇の列ができ、約400箱（1箱4～5個入り）のメロンが次々に売れていきました。

また、アールスメロンの網目模様で『お中元』の文字を刻んだ贈答用のメロンも登場し、買い物客の注目を集めていました。



ようこそ松浦へ！ 絆深まる国内交流

ホークス交流・生徒学習交流事業

◆ホークス交流

8月6日から10日にかけて、北海道鷹栖町児童6人が本市を訪れ、市内の児童6人とともにホークス交流に参加しました。

今回は、鷹島の埋蔵文化財センターガイダンス施設を訪れたり、海水浴を楽しんだり、船釣りを体験したりしました。また、9日の登校日には受入家庭の児童と共に平和学習に参加し、平和を祈りました。

松浦の児童と仲良くなった鷹栖町の児童たちは、送別式で来年1月の鷹栖町での再会を約束し、松浦を出発しました。



◆生徒学習交流事業

8月8日から11日にかけて、長野県木曾町の中学生7人と北海道福島町の中学生4人が本市の中学生と学習交流を行いました。

両町の生徒たちは、松浦市の生徒宅にホームステイをしながら、松浦市の生徒とともに埋蔵文化財センターガイダンス施設を訪れたり、船釣りを体験したりしました。また、今福中学校の平和集会にも参加し、同校の生徒と共に恒久平和への祈りを捧げました。

長崎の夏を十分体験した生徒たちは、ホストファミリーとの4日間の思い出とともに松浦を出発しました。

